就職面接場面におけるうなずき行動の効果

○土屋裕希¹・遠藤健治²

(¹ 青山学院大学大学院教育人間科学研究科・² 青山学院教育人間科学部)

キーワード: 就職面接場面, 非言語コミュニケーション, うなずき行動)

Effect of nodding behavior at the job interview situation

Yukino TSUCHIYA¹, Kenji ENDO²

(¹ Graduate School of Education, Psychology, and Human Studies, Aoyama Gakuin University,

² College of Education, Psychology, and Human Studies, Aoyama Gakuin University.)

Key Words: Job Interview Situation, Nonverbal Communication, Nodding behavior

目 的

就職面接場面を想定した模擬面接を行い、その時に表出された面接志望者のうなずき行動に着目し、採用評価との関連を検討する。

方 法

実験参加者 大学1, 2年生43名。

面接官 大学4年生2名, 大学院生1名。

実験装置 多目的観察ビデオカメラ (日本事務光機 SCB-65), ビデオタイムカウンター (日本事務光機 VTC-200S), デジタルHDビデオカセットレコーダー (SONY GV-HD700/1)

尺度 改訂版 ENDE2 尺度 (土屋, 2012) 社会的スキルの自己評価である「解説」「意図的表出」「無意図的表出」「他者指向性」から構成される19項目について5件法で回答を求めた。

手続き 事前に実験協力の同意を得た参加者に対して面接官と1対1の就職模擬面接を行った。面接終了後、質問紙への記入を求めた。

撮影状況 録画の了承を事前に得た上で面接場面を録画した。

採用評価 岩脇 (2007), Macan (2009) を参考に作成した13項目からなる採用評価項目に沿って、面接映像から社会人8名が5件法で評価を行った。

結 果

面接時の映像をもとに、発話時と聴取時のうなずきに分類した上で回数を測定し、それぞれ60秒あたりの平均回数を求めた。さらに発話うなずき ($M=12.11$), 聴取うなずき (8.49) をそれぞれ平均値で高低群に分け、以下の分析を行った。

まず、発話うなずきおよび聴取うなずきの各高低群を独立変数、社会的スキルの自己評価を従属変数として、 t 検定を行った。その結果、発話うなずきにおいて「無意図的表出」 [$t(39)=2.39, p<.05$] が高群の得点が有意に高いことが示された。「解説」「意図的表出」「他者指向性」において有意差は認められなかった。以上からうなずき行動は他者への意図的な表現手法として捉えられていないことが示された。

次に、発話うなずきおよび聴取うなずきと採用評価との関連をみるために、発話うなずきおよび聴取うなずきの各高低群を独立変数、採用評価を従属変数として t 検定を行った。その結果、発話うなずきに関しては「責任感」 [$t(38)=2.08,$

$p<.05$], 「熱意・意欲」 [$t(33)=3.02, p<.01$], 「行動力」 [$t(40)=3.07, p<.01$], 「協調性」 [$t(39)=3.44, p<.01$] 「論理的思考力」 [$t(40)=3.16, p<.01$], 「問題解決力」 [$t(41)=2.05, p<.05$], 「理解力」 [$t(39)=2.21, p<.01$], 「表現力」 [$t(41)=2.78, p<.01$], 「一緒に働きたいか」 [$t(41)=2.62, p<.05$], 「誠実さ」 [$t(41)=2.48, p<.05$], 「好感があるか」 [$t(39)=2.58, p<.05$], 「採用可能性の高さ」 [$t(40)=2.40, p<.05$] において高発話うなずき群が有意に高い得点を示した。図1に発話うなずきにおいて有意差のあった項目の得点差を示す。同様に聴取うなずきに関しては、「協調性」 [$t(38)=2.90, p<.01$] において高聴取うなずき群が有意に高い得点を示した。

図1 発話うなずき高低における採用評価の得点差

考 察

本研究の結果から面接時におけるうなずきは発話、聴取ともに肯定的評価をもたらし、特に発話うなずきは多くの採用評価項目が低群に比べ高まることが確認された。さらに発話時だけでなく面接官の話を聞いている姿勢も評価対象であることが見出された。うなずきに関しては従順や友好的とみなされる働きがあること (Eibl-Eibesfeldt, 1974, 1979), 積極的コミュニケーションを示すこと (鈴木, 1997) など肯定的な評価との関連が報告されている。本研究から面接場面でも同様に、積極的なうなずき行動は採用評価向上の一助となることが示された。